

じぶんで できるよ!

ひかりのくに

5領域
10の姿
との関わり

人
環
言
3
7
9

今日の活動のねらい

- ★いちごの成長について知り興味・関心を持つ
- ★食べてみたい意欲を持つ

活動時間
10～20分

タイミング
朝の会后

使う絵本・コーナー

ひかりのくに 5月号
p.14～17

わくわく食育!
いちごの だいへんしん!



活動の内容と流れ

写真の観察から旬の食べ物に興味を持つ

ひかりのくにを読み、旬の食べ物の成長過程を知る

→いちごの色、葉の形、つぶ、大きさ、食べ方などに触れて話し合う

→いちごが大きく、赤くなるためには何が必要なのかみんなで考える

時間を設け、思い思いに発言する

→カラー帽子を裏側に被り、保育者が水をやったりお日様になったりして

大きなあれ赤くなあれごっこをする

→実際に畑があればいちご狩りをし、赤くないいちごは「がんばれ!」と言って採らないようにする

いちごはすぐにはできないこと、花が咲いた後に実がてきることを話す



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
いろんないちご、葉、白い花の
写真、可能なら本物のいちごを
用意する

○
一人ひとり答えられるように
聞く。子どもたちの自由な
発想を大切に、受け止める



◆
みんなで活動できる
場所を用意する

○
いちご狩りに行ったこと
があるかなど聞いて、楽しみながら
話に参加できるようにする

活動後、振り返りのポイント

- ★いちごについての興味が出て食べてみたいと思えたか
- ★いちごについて子どもたちの様々な発言はあったか
- ★食べ物を大切にしようと思う気持ちが生まれたか

今日の活動のねらい

- ★貸し借りの際に言葉で伝えることの大切さを知る
- ★友達との関わりを深める

活動時間

30分

タイミング
室内遊び前

5領域
10の姿
との関わり

人

言

3

4

9

使う絵本・コーナー

ひかりのくに 5月号
p.18~27

楽しい生活♪
こんなときなんていう？



活動の内容と流れ

絵本を読み、貸し借りの際のやりとりを確認する

- 「こんなとき何て言う？」と子どもたちの声を聞く
- 「あとでね」と言ったら「あと」はどのくらいなのか、どうやってどのタイミングで貸すのかさらに掘り下げて聞く
- 使っていないときに誰かが使ってしまったときはどうするか話し合う
- 数の少ないおもちゃを用意し、貸す側と借りる側に分かれ、言葉を使ってゲームのように取り組みやってみる
- 保育者が借りる側になり、仮定の貸し借りを見せて大切な言葉を示す



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
大きいぬいぐるみのようなおもちゃを用意し、おもちゃがはっきりと見えるようにする

○
「貸して」「あとでね」など言葉で伝え合っている子をみんなの前でほめる



◆
時計の数字にシールを貼って交代の時間がわかるようにする

○
室内遊びの後に振り返りの時間を設け、子どもたちのやりとりを紹介し、共有する

活動後、振り返りのポイント

- ★一人ひとりが「言葉で伝えることの大切さ」を理解し、実践してやりとりができたか
- ★友達の思いや自分の気持ちを考え、発言できたか

今日の活動のねらい

- ★様々な乗り物に興味を持つ
- ★好きな乗り物や乗ってみたい乗り物を話し合う

活動時間

20分

タイミング

午前中

5領域
10の姿
との関わり

環

言

5

9

使う絵本・コーナー

ひかりのくに 5月号
p.2~11

お話なあに？
あそこの まちには…



活動の内容と流れ

お話を読み、どんな乗り物があるか話し合う

- 「あそこの まちには…」のお話を読む
→乗ったことのある乗り物を聞く
→たくさん乗れる乗り物、遠くへ行くときに乗る乗り物、海で乗る乗り物などを聞く
→子どもたちの家の近くではどんな乗り物が走っているか話し合い、一人ひとり発表する
→他にもどんな乗り物を知っているか、好きな乗り物は何か話し合う



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
乗り物が載っている図鑑を用意する

○
子ども一人ひとりが発言しやすいように声をかける



◆
様子を見ながら、保育者が始めに見たことがある乗り物について話す

○
子どもから声が出たら「かっこいいよね」「素敵だね」など声をかける

活動後、振り返りのポイント

- ★乗り物に興味を持っていたか
- ★一人ひとりが発言したり友達の話聞いていたか
- ★子どもの興味や関心に寄り添い、適切な声かけができたか

今日の活動のねらい

- ★乗り物に乗ってどこに行きたいか関心を高める
- ★運転するごっこ遊びを通して想像力を膨らませる

活動時間

20分

タイミング

午前中

使う絵本・コーナー

ひかりのくに 5月号
p.12 - 13

写真で見つけた！
どれにのりたい？



活動の内容と流れ

写真の観察から乗り物について話し、興味を高める

- ひかりのくにをよく見て、乗り物により関心・興味を持つ
- 「お話 なあに？」コーナー（p2～11）を読み、続けてこのページを読む
- どの乗り物に乗ってみたいか、どこに行きたいか話し合う
- 運転手になったり、乗り物のまねっこをしたりして、いろいろな形のごっこ遊びを楽しむ
- お散歩や戸外に出たときに実際に乗り物を見してみる



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
図鑑や他の乗り物が載っている
写真を見ながら話し合う

○
様子を見ながら、保育者が始めに
どの乗り物に乗ってみたいか、
どこに行きたいか話す

◆
十分なスペースを取ってごっこ遊びをする
「バスごっこ」の歌を歌って体を動かす
園庭に出て屋外で電車ごっこや動きのある
遊びをする

○
遠目でバスに乗る場合、
楽しみや期待につながるように
声をかける

活動後、振り返りのポイント

- ★写真を見ることでさらなる興味につながられたか
- ★ごっこ遊びにつなげることで楽しめていたか

今日の活動のねらい

- ★保育者や友達とともに体を動かすことを楽しむ
- ★さまざまな動きに親しみ、身体感覚を育む

活動時間

15分

タイミング
朝の活動後

5領域
10の姿
との関わり

健

人

環

表

1

3

7

10

使う絵本・コーナー

ひかりのくに 5月号
p.30-31

まねっこヨーガ
りょうあし どっしり
ぞうに なろう！



活動の内容と流れ

写真の観察やゾウの性質を伝え、体を動かす

ひかりのくにをよく見て、やさしいゾウになりきる

→図鑑や写真でゾウを観察し、鼻や耳、

足はどうなっているかなどじっくり見る

→まねっこヨーガのページ (p30-31) を見て、保育者と一緒に

両足を広げどっしり立ち、腕を鼻に見立てて、耳をそばだてゾウのポーズをとる

→♪ぞうさんの歌を歌いながら腕を揺らしてリズムをとったり、体を前にあげたり、歩いたりして楽しむ

→お父さんお母さんゾウと子ゾウの動きの違いを考えて発表する



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
仲間を大切にする、やさしい性質をもつ
ゾウになりきって、保育者や友達と共に
自由な表現を楽しむ

○
まわりに危険なものがないかに
配慮し、子ども同士がゆっくり
動いて空間を共有できるようにする
歩くときは膝を折り曲げ前を見る



◆
ゾウが載っている写真や図鑑を用意する
ゾウが耳を澄ませるときは、カラダの
動きをピタッと止めて、前二本の足裏で
音をキャッチすることを伝える

○
一人ひとりの多様な動きや表現方法
を認めながら、のびのびと繰り返し
を楽しむ中で、体の重心を感じられる
ようにする

活動後、振り返りのポイント

- ★ポーズをつかって、動きを楽しむことができたか
- ★さまざまな体の感覚に気が付くことができたか
- ★一人ひとりの発達に応じた想像、模倣、創造を賞賛してきたか
- ★友達と共有の場に親しむことができたか